

明るい日田

No.1476
発行者
日本共産党
西部地区
委員会
日田市中城
町6-29
TEL24-2145
2018年
12月27日

あきらめない!! 増税中止の声を拡大

12月議会で、日田民商など4団体が提出した「消費税率10%の引上げ及びインボイス制度の撤回を求める意見書の提出を求める請願書」は賛成少数で不採択となりました。反対多数の市民の思いとねじれ状態です。消費不況が続く中、増税すれば深刻な事態になることは明らかです。増税中止の一点で共同し、大きな国民世論をつくり政治を変えようではありませんか。

21日の最終本会議で大谷市議は、請願に賛成する立場から「消費税が5%から8%に引き上げられてから、GDPの6割を占める個人消費は落ち込んだままで、10%にすればさらには個人消費は落ち込み日本経済は破壊的な打撃を受ける。複数税率も『突き進め』問題噴出必至」とマスクも指摘している。ポイント還元は62%の国民が反対を表明。インボイス制度で1千万円以上

下の500万の免税業者は課税業者になれば負担が増える。
社会保障のためといつが実際は安倍政権の6年間で3兆8850億円削減された。『増税中止は十一分にあり得る。力ギは国民世論』と藤井聰内閣官房参与(京都大学教授)は述べてあると記録しました。

請願に反対する立場から坂本茂は請願に賛成、●は請願に反対。飯田茂男議長は採決に参加しません。

消費税増税反対の請願不採択

長野信子氏を擁立

共産党新人
予定候補

日本共産党西部地区委員会は、来年の日田市議会議員選挙に予定候補として女性新人の長野信子氏を擁立することを発表しました。現職の大谷としあき市議、ひくま知重市議とともに3人で挑戦することになります。発表された長野氏のコメントを紹介します。



来年の市議選は3名で挑戦

1957年生まれ 丸山一丁目に在住

日本共産党日田市議団が行った市民アンケートに沢山の方が自分の思いを書いていました。「小学生2人を持つ家庭ですが、給食費や学級費など義務教育の期間だけでも無料化にしてもらいたいと思います」「母親が96歳、介護5で入院・入所していまます年金が4万円余りですが、支払いは月10万円となつていて、少しでも負担が減るといいです」と書いてありました。私はこのような市民の思いをしっかりと受け止め、誰もが安心して暮らせる日田市を皆様と一緒に作りたいと思っています。

日本共産党西部地区委員会女性部長 長野信子

田隈小。北部中、日田高卒
大分大学教育学部卒
九重町立飯田小・日田市立北小野小
教諭、専業主婦
大明中、東有田中講師、日田二隈高校・
日田高校、日田林工高校講師、日田市
公民館主事

公明党	新世ひた			市政クラブ			市民クラブ			共産党	会派
坂本 茂	松野 勝美	中野 哲郎	石橋 邦彦	飯田 茂男	梅原 竜也	高倉和一郎	渡辺 孝祐	安達 明成	井上正一郎	大谷 敏彰	市議会議員名
●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	賛否